

【様式】

令和8年度 学校マネジメントシート

学校名(三重県立石薬師高等学校)

1 目指す姿

(1)目指す学校の姿	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主…自ら努力して学び、自分の進路を自分で切り拓く生徒を育てる学校 ○ 創造…地域から信頼され、強い責任感を持ち、将来の社会に貢献する生徒を育てる学校 ○ 敬愛…笑顔にあふれ、人を思いやる豊かな人間性を持つ生徒を育てる学校
(2) 育みたい資質・能力(育みたい生徒の姿)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎基本の学力を身につけ、主体的に学習に取り組み、生涯にわたり学ぶ力 ○ キャリア教育を通して自己の進路について考え、社会の一員として貢献できる力 ○ 豊かな人間性を身につけ、積極的にいじめ防止に向けて行動できる力を育てる
【グラデュエーション・ポリシー】	
ありたい教職員の姿	○根気よく生徒に向き合い、教職員一人ひとりの言葉で、生徒に前向きな言葉をかけ続けることができる

2 現状認識

(1)学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ いじめや暴力のない安全で安心な学校 ○ 達成感や満足感が感じられる充実した高校生活 ○ 基礎学力の定着 ○ 進路実現 <p>【保護者等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ いじめや暴力のない安全で安心な学校 ○ 進路実現 ○ 高校卒業後の自立に向けた学力の定着と社会性の涵養 <p>【地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 公共心やマナーの育成 ○ 地域に貢献する人材の育成 <p>【進路先】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 社会的・職業的自立に必要な資質・能力の育成 	
(2)連携する相手と連携するうえでの要望・期待	<p>連携する相手からの要望・期待</p> <p>【保護者等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員のきめ細かな指導や支援 ○ 学校の取組や生徒の様子見える化 <p>【地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域に貢献する人材の育成 ○ 生徒の地域行事等への参加 <p>【進路先】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 社会的・職業的自立に必要な資質・能力の育成 <p>【出身中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎学力と基本的な生活習慣の定着 ○ 教職員のきめ細かな指導や支援 <p>【杉の子特別支援学校石薬師分校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒や保護者が安全安心を感じられる学校 ○ 身近な共生社会として、学校行事等での両校生徒の交流 	<p>連携する相手への要望・期待</p> <p>【保護者等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教育活動への理解と協力 ○ 学校との連携強化 <p>【地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 職場体験等、キャリア教育の推進に向けた協力 ○ 生徒の地域行事等への参加協力 <p>【進路先】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 職場体験等、キャリア教育の推進に向けた協力 <p>【出身中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎学力と基本的な生活習慣の定着 ○ 生徒が充実した高校生活を送れるよう連携を強化 <p>【杉の子特別支援学校石薬師分校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 特別な支援を要する生徒の指導に係る助言 ○ 両校の相互理解

<p>(3)前年度の学校関係者評価など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「石薬師高校版インクルーシブ教育システム」の取組を継続し、生徒一人ひとりの努力や成長を認める教育を充実させるとともに、基礎学力の定着や学習意欲の向上につながる指導の工夫が必要。 ○ 教職員の生徒対応スキル向上のための研修を充実させるとともに、教職員間の情報共有を徹底し、安定した生徒指導体制の構築を図ることが必要。 ○ キャリア教育プログラム「サクサク・プラン」を軸に進路指導部と学年の連携を強化し、職業理解を深める取組を充実させることが必要。 ○ 強みである教職員のチームワークを生かし、生徒指導や支援体制のさらなる充実を図るとともに、不祥事防止に向けた職場環境づくりの推進が必要。 ○ 業務の効率化や支援体制の充実を進め、教職員が安心して働くことができる環境づくりに継続的に取り組むことが必要。 				
<p>(4)現状と課題</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td data-bbox="284 533 437 947" style="text-align: center; vertical-align: middle;">教育活動</td> <td data-bbox="437 533 1473 947"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習習慣が十分身につけていない生徒が在籍していることから、「わかる授業」を通じて、学ぶ楽しさを実感し、学習の仕方をつかむことができる授業づくりへの継続的な取組みが必要。 ○ 安全で安心な学校生活を送るために、支援を要する生徒がいることから、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、発達障がい支援員等の専門人材を積極的に活用することが必要。 ○ 教職員は「チーム石高」の一員であるとの意識を持ち、生徒の気持ちに寄り添いながら、丁寧で粘り強い対応を日々心掛けている。今後も継続的な取組が必要。 ○ 生徒一人ひとりが進路実現に向けて、自主的・自発的に取り組むことができるよう、3年間を見通したキャリア教育の充実に努めることが必要。 ○ 本校生徒と同じ校舎で学ぶ杉の子特別支援学校石薬師分校の生徒が、安全安心を感じられる学校づくりが必要。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="284 947 437 1120" style="text-align: center; vertical-align: middle;">学校運営等</td> <td data-bbox="437 947 1473 1120"> <ul style="list-style-type: none"> ○ クラス減に伴う教職員定数の減少が、教職員の業務負担の増加につながっている。校内体制や日々の業務の点検と見直しが必要。 ○ 併設する杉の子特別支援学校石薬師分校との連携を拡充し、それぞれが持つ教育の専門性や機能を生かした取組ができるよう、交流や情報交換等、一層推進することが必要。 </td> </tr> </table>	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習習慣が十分身につけていない生徒が在籍していることから、「わかる授業」を通じて、学ぶ楽しさを実感し、学習の仕方をつかむことができる授業づくりへの継続的な取組みが必要。 ○ 安全で安心な学校生活を送るために、支援を要する生徒がいることから、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、発達障がい支援員等の専門人材を積極的に活用することが必要。 ○ 教職員は「チーム石高」の一員であるとの意識を持ち、生徒の気持ちに寄り添いながら、丁寧で粘り強い対応を日々心掛けている。今後も継続的な取組が必要。 ○ 生徒一人ひとりが進路実現に向けて、自主的・自発的に取り組むことができるよう、3年間を見通したキャリア教育の充実に努めることが必要。 ○ 本校生徒と同じ校舎で学ぶ杉の子特別支援学校石薬師分校の生徒が、安全安心を感じられる学校づくりが必要。 	学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ○ クラス減に伴う教職員定数の減少が、教職員の業務負担の増加につながっている。校内体制や日々の業務の点検と見直しが必要。 ○ 併設する杉の子特別支援学校石薬師分校との連携を拡充し、それぞれが持つ教育の専門性や機能を生かした取組ができるよう、交流や情報交換等、一層推進することが必要。
教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習習慣が十分身につけていない生徒が在籍していることから、「わかる授業」を通じて、学ぶ楽しさを実感し、学習の仕方をつかむことができる授業づくりへの継続的な取組みが必要。 ○ 安全で安心な学校生活を送るために、支援を要する生徒がいることから、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、発達障がい支援員等の専門人材を積極的に活用することが必要。 ○ 教職員は「チーム石高」の一員であるとの意識を持ち、生徒の気持ちに寄り添いながら、丁寧で粘り強い対応を日々心掛けている。今後も継続的な取組が必要。 ○ 生徒一人ひとりが進路実現に向けて、自主的・自発的に取り組むことができるよう、3年間を見通したキャリア教育の充実に努めることが必要。 ○ 本校生徒と同じ校舎で学ぶ杉の子特別支援学校石薬師分校の生徒が、安全安心を感じられる学校づくりが必要。 				
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ○ クラス減に伴う教職員定数の減少が、教職員の業務負担の増加につながっている。校内体制や日々の業務の点検と見直しが必要。 ○ 併設する杉の子特別支援学校石薬師分校との連携を拡充し、それぞれが持つ教育の専門性や機能を生かした取組ができるよう、交流や情報交換等、一層推進することが必要。 				

3 中長期的な重点目標

<p>教育活動 【カリキュラム・ポリシー】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒が学習することの意義を理解し、自主的・自発的に学習に取り組むことができるよう、一人一台端末を効果的に活用して、基礎学力向上に特化した学習活動や個に応じたわかりやすい授業を展開する。 ○ 生徒が社会の中で自分らしく生きていくために、探究的な見方・考え方について、教科を横断した授業研究を推進するとともに、図書館利用を促進して読書に親しむことで確かな学力や豊かな人間性を育成する。 ○ 生徒が進路実現を果たすため、本校独自のキャリア教育プログラム「サクサク・プラン」を中心に、総合的な探究の時間における進路学習や事業所・関係機関と連携した体験活動を充実することで、3年間を通じたキャリア教育・進路指導を実践する。 ○ 生徒が互いに励まし合いながら成長していくための仲間づくりを大切にするとともに、自己の可能性や適性について自覚を深めるための働きかけを行うことで生徒の行動や意識の変容を促し、社会人として求められるマナーやルールの定着、コミュニケーション能力の育成を図る。 ○ いじめが起きにくい、いじめを許さない環境づくり、いじめの早期発見と早期対応を行うため、生徒によるいじめ防止活動への積極的な参加、いじめ問題解決に向けた実効性のある組織体制づくりを強化する。 ○ 本校生徒が杉の子特別支援学校石薬師分校の生徒とつながり、共に学び、支え合い、成長できるよう取組を推進する。
<p>学校運営等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科指導や生徒指導、進路指導等のすべての教育活動において、教職員が一体となって取り組み、やりがいを持って職務を遂行できるよう、教職員同士が日常から互いに声を掛け合い、協力し合うとともに、知識やノウハウ等を共有し、互いに教え合い、高め合うなど、「チーム力」の高い集団づくりを行う。 ○ 地域社会から信頼される学校づくりを推進し、学校が生徒にとって安心して楽しく通える魅力ある環境となるよう、家庭・地域と連携しながら、校内、学校周辺、通学路の美化活動や環境整備に努めるとともに、大規模災害に備えるための防災教育や危

	機管理体制づくりを推進する。 ○ 4年後の閉校準備を計画的に進める。
--	---------------------------------------

4 求める生徒像

入学時に期待される 生徒の姿 【アドミッション・ポリシー】	○ 志望動機が明確で、高校生活に目的意識を持つ生徒 ○ 規範を守り、学校生活に積極的に取り組める生徒 ○ 基礎的な学力と学ぶ意欲を備え、向上心を持って学習する生徒
---	---

5 本年度の行動計画と評価

(1)教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など

また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考	
授業力の向上・学習指導の充実	○ 「石薬師高校版インクルーシブ教育システム」を活用し、ユニバーサルデザインの視点に基づき、全教職員が共通理解のもと、統一したスタイルで授業を進めることにより、生徒が安心して授業を受けることができるしくみづくりを進める。		◎	
	○ 学び直しとわかる授業の実践を通して、生徒の基礎学力を定着させる。		◎	
	○ 授業やアサガク、その他活動における一人一台端末の積極的な活用と探究学習および観点別学習状況評価の充実を図り、生徒の学習改善につなげる。			
	○ 授業力向上週間を設定し、生徒の学習状況を踏まえながら、教職員が教科を越えて学び合い成長するための授業研究を行う。			
	【活動指標】 授業の始めに授業のねらいと目標を明示するなど見通しを示している教職員の割合 100%			
	【活動指標】 教職員の授業研究への参加 1回以上			
	【成果指標】 学校満足度調査で授業内容の理解について肯定的な回答をした生徒の割合 80%以上		◎	
生徒指導の充実・豊かな人間性を育む教育の充実・命の尊さを理解しいじめのない学校の実現	○ 「石薬師高校版インクルーシブ教育システム」を活用し、生徒への声のかけ方等、全教職員が一致した考え方で指導にあたり、生徒の心の成長を促す。		◎	
	○ 生徒の些細な変化を見逃さず、気になる生徒には教職員が積極的に声掛けを行い、必要に応じて面談や家庭と連携した対応を行う。		◎	
	○ 生徒同士が、お互いの人権を尊重し、思いやりの心		◎	

	<p>を持って、いじめや暴力のない安全で安心な学校づくりに努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒指導上の問題行動については、生徒指導委員会やいじめ防止委員会を機能させ、学校全体として組織的に対応する。また、本校と杉の子特別支援学校石薬師分校の生徒間で発生した問題行動については、両校の教職員で構成する委員会において情報共有や対応方針の決定を行い、緊密に連携して対応する。 ○模範生徒表彰制度を継続し、真面目に努力する生徒を激励するとともに、生徒の意識の醸成を図る。 ○挨拶運動や清掃活動、安全安心な学校づくり等、生徒が主体となった取組を推進する。また、生徒会役員等が中心となり、杉の子特別支援学校石薬師分校の生徒との交流を進める。 <p>【成果指標】 学校満足度調査で学校生活の安心感について肯定的な回答をした生徒の割合 80%以上</p> <p>【活動指標】 模範生徒表彰の実施回数 3回</p> <p>【活動指標】 生徒が主体となった挨拶運動の回数 3回以上 生徒が主体となった学校周辺の清掃活動の回数 3回以上</p>		<p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p>
<p>キャリア教育(進路指導)の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○高校卒業後の自らの進路について、早期の段階から意識ができるよう、入学時から必要な情報を提供し、生徒の状況に応じたきめ細かな相談体制を構築する。 ○生徒が目標を明確に持って進路実現をしていくために、インターンシップや模擬就職活動を行う。 ○キャリア教育計画「サクラサク・プラン」を見直しながら、体系的なキャリア教育、進路指導を実践する。 <p>【活動指標】 個別・三者面談の実施 4回</p> <p>【成果指標】 学校満足度調査で目的意識の有無について肯定的な回答をした生徒の割合 80%以上</p>		<p>◎</p> <p>◎</p>
改善課題			

(2)学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など

また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

